

Kure College		Year	2021		Course Title	Contemporary Japanese Language I	
Course Information							
Course Code		0002		Course Category		General / 選択必修	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Electrical Engineering and Information Science		Student Grade		1st	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		『改訂版 国語総合 現代文編』（数研出版）『プレミアムカラー 国語便覧』（数研出版）『新版 チャレンジ常用漢字』（第一学習社）					
Instructor		FUKUDA RYO					
Course Objectives							
1. 日本語で書かれた文章を的確に読解すること。 2. さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を涵養すること。 3. 作品が書かれた時代（文学史）や作家に関する知識を身につけること。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		日本語で書かれた文章を的確に読解できる		日本語で書かれた文章を読解できる		日本語で書かれた文章を読解できない	
評価項目2		さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を養うことが的確にできる		さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を養うことができる		さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を養うことができない	
評価項目3		作品が書かれた時代や作家に関する知識を身につけることが的確にできる		作品が書かれた時代や作家に関する知識を身につけることができる		作品が書かれた時代や作家に関する知識を身につけることができない	
Assigned Department Objectives							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)							
Teaching Method							
Outline		日本語で書かれた文章を的確に理解する能力を養うため、小説、評論などの文章を読解する。また、自分の考えをまとめ表現できる思索力と言語能力を身につける。					
Style		講義を基本とする。週に一度を目安に漢字テストを実施する。適宜、課題提出も課す。新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する場合があります。					
Notice		授業態度は常に真摯にとり組む姿勢が基本です。積極的に学び、文章を読むことの楽しさ、奥深さに向き合ってください。（新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。）					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス 随想「知の体力」（永田和宏）		1, 自己紹介文を書く。随想「知の体力」を読解する。「勉強」「学問」について理解し、筆者の主張する「知の体力」の意味について自ら考察する。		
		2nd	随想「知の体力」（永田和宏）				
		3rd	随想「知の体力」（永田和宏）				
		4th	小説「羅生門」（芥川龍之介）		2, 小説「羅生門」を読み、鑑賞する。作品の主題・構成・表現方法を理解する。作者や時代背景・文学史に関する知識を身につけ、より作品の理解を深める。原典との対照によって作品の主題を考察する。		
		5th	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
		6th	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
		7th	小説「羅生門」				
		8th	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
	2nd Quarter	9th	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
		10th	短歌と俳句		3, 短歌八首・俳句八句から選ぶ作品を鑑賞する。詩情のありかを的確に捉える。表現に込められた感性を様々な角度から読みとる。作者や背景に対する知識を学び、人生の意味について考える。それぞれの創作を課題とする。		
		11th	短歌と俳句				
		12th	短歌と俳句, 評論「水の東西」（山崎正和）		4, 評論「水の東西」を読解する。論理の展開を的確に捉える。筆者の東西文化に関わる主張、今日に生きている伝統的な美意識について各自で思考をめぐらす。		
		13th	評論「水の東西」（山崎正和）				
		14th	評論「水の東西」（山崎正和）				
		15th	期末試験				
		16th	答案返却・諸課題				
Evaluation Method and Weight (%)							

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0